

令和4年度
静岡県立中央図書館
主要施策・重点取組

(件名)

令和4年度の基本方針と主要施策について

(県立中央図書館)

1 当館の基本方針

- 県民の生涯学習の拠点としての図書館
- 市町立図書館のための図書館 →県民の教育及び文化の向上に寄与する
- 資料情報センターとしての図書館
～県民の「調べる、考える、解決する」を支援する～

2 令和4年度主要施策

(1) 新県立中央図書館整備への対応

- ・社会教育課等と連携し、新県立中央図書館整備に関わる作業を進めます。
- ・職員間で様々な情報を共有して、新館づくりに積極的に関わり、多くの人から待ち望む新県立中央図書館づくりに取り組みます。
- ・新県立中央図書館へのロードマップ(行程表)に基づき、計画的に新館への移行準備を進めます。

(2) 現有施設における最良のサービス展開

- ・施設面・システム等を含め安全・安心な環境整備に配慮します。
- ・現有施設において、新館を見据えつつ、利用者が満足できる各種サービスの改善・向上に取り組めます。
- ・障害があるなどの理由で利用が困難な方に対するサービスの改善・向上に取り組めます。
- ・電子図書館サービスの充実を図るなど、図書館DXを進め、新館を見据えたより利便性の高いサービスの在り方を検討します。

(3) 職員の資質向上

- ・県立中央図書館職員としての専門性を高め、力量を向上させるため、「県立中央図書館司書育成指針」に基づき、館内研修の実施及び外部研修への積極的な参加を組織的・計画的に行うとともに、研修報告会や館内・館外の研修・講座の講師を務めることで、その成果の普及を図ります。
- ・館内ワーキンググループや担当職員を中心に、新規事業の立ち上げや従来の事業の改革等につながる図書館サービスの研究開発に取り組めます。

(4) 県域全体への広報とサービス向上

- ・当館が県域全体で多くの県民に活用されるよう、県教育委員会や知事部局との連携や支援に努めるとともに、レファレンスサービスや市町立図書館を通じての資料提供などを積極的に広報し、認知度の向上を図ります。
- ・県域サービスの拡充のため、協力貸出及びインターネット予約による市町立図書館等受取りサービスにおいて市町立図書館等とさらなる連携に努めるとともに、県域サービスの充実に向けての、今後の方向性を検討します。

(5) 県内図書館のさらなる活性化への寄与

- ・県内図書館職員の資質向上のため、研修内容の充実や運営手法の工夫に努め、職員研修の充実を図ります。また、研修に参加できなかった県内図書館職員に対しても、可能な限り研修の資料等を提供し、情報の共有を図ります。
- ・市町立図書館の課題解決を支援する要請訪問を実施するとともに、市町立図書館への情報提供の充実を図ります。
- ・県内図書館の振興のため、県図書館協会と連携し、各図書館が協力し合い、本県の図書館活動がさらに活発化するようリードします。

(6) レファレンス・課題解決支援サービスの充実

- ・職員がレファレンス技術の向上に努め、組織全体のスキルを高めることで、レファレンスサービスの充実を図ります。
- ・レファレンス、講座や研修を通じて、県民、県内図書館職員、教職員等に、オンラインデータベース等、多様な情報ツールの活用を促進し、課題解決支援サービスを充実します。
- ・課題解決支援サービスの一つである「健康医療情報サービス」については、館内横断的な組織を中心に、県民の健康・医療に関するニーズに応えることができるよう関係コーナーやWebページ等の充実を図るとともに講演会等の関連事業にも積極的に取り組みます。

(7) 子どもの読書活動推進への寄与

- ・子どもの読書活動を推進するため、子ども図書研究室の有効活用を図るとともに、講座・研修会等の充実に取り組みます。
- ・新館での子ども図書館を見据えて、子ども図書研究室と子どもコーナー「どんぐりひろば」を連携させた運営の在り方を研究します。

(8) 専門書を中心とする資料収集と地域資料の充実

- ・一般資料については、専門書を中心に計画的かつ精選した資料収集に努めます。
- ・地域資料については、静岡県内に関連する資料を網羅的に収集することに努めます。
- ・資料費予算の確保に努めるとともに、市町立図書館との役割分担を考慮し、その予算を有効に執行します。

(9) 資料保存と貴重書等のデジタル化の推進

- ・未来の県民のために資料を着実に保存します。また、館外保管している資料の維持管理にも配慮します。
- ・地域資料を含む貴重書等のデジタル化を推進し（ふじのくにアーカイブの充実）、それら資料の利活用の促進に努めます。
- ・資料の修復や保存のための媒体変換（デジタル化ほか）に取り組みます。

(10) 特色ある展示・企画等の実施、美レク（図書館講座）の充実

- ・外部機関・団体と積極的に連携し特色ある展示を行います。また、団体・個人を問わず、図書館や活字文化の振興を支えてくださる方々と力を合わせて、幅広い分野で協働できるよう努めます。

(11) 県史編さん収集資料の整理及び公開

- ・県史編さん収集資料目録の作成及びデータベース化、「静岡県史」の検索システムへの入力などに計画的に取り組み、公開に向けた作業を進めます。

令和4年度各班等重点取組調書	
(総務) 課 (総務) 班	
令和4年度主要施策	(2) 現行施設における最良のサービス展開
事業体系の位置付け	(イ) a 資料の利用促進 － 閲覧室内の良好な読書環境の維持
新館ロードマップ 該当箇所	—
重点取組名	利用者が安心して安全に利用できる環境整備
現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 建築から53年経過した施設であるため、老朽化による不備が著しく配管類の故障や不具合が頻繁に発生している。その都度必要最低限の修繕を執行しているが、新館整備計画案が具体的になり、抜本的な改修工事は望めない。
取組の目的・内容・ 方向性・計画等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者の安全安心を最優先し、月一度全職員で行う安全チェックリストを活用し、危険箇所施設、設備等の不具合にはできるだけ速やかに対応する。 ・ 対応情報等は掲示板等で利用者及び職員間においても情報共有する。
達成目標 (期待される効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者、職員の安全安心な環境の提供 ・ 施設・設備の不具合による事故の件数0件。
備考	

令和4年度各班等重点取組調書	
(企画振興) 課 (企画) 班	
令和4年度主要施策	(5) 県内図書館のさらなる活性化への寄与
事業体系の位置付け	(ウ)b 職員研修
新館ロードマップ 該 当 箇 所	マップ No. 355 県内図書館支援 その他支援
重 点 取 組 名	公立図書館等職員研修の開催方法等の確立
現 状 ・ 課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和元年度までの研修開催方法は集合型のみであり、他の方法で開催したことがなかった。 ・ 令和2・3年度は集合型の他に、オンラインのライブ配信やオンデマンド配信等による研修も実施したが、まだ試行錯誤の域を出ていない。 ・ 遠隔地や旅費の予算が少ない県内図書館では集合型研修への参加が難しい、という状況がある。 ・ コロナ後における研修の開催方法等について、令和元年度以前のもままで良いのか、DX化という社会情勢も鑑みて再検討すべき段階にきている。
取組の目的・内容・ 方向性・計画等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 集合型やオンラインなど、各研修毎に適切な開催方法や当日の運営手法を用いることによって、県内図書館職員に対して、より一層の資質向上の機会を提供する。 ・ 県内図書館への研修開催通知、参加者募集、アンケート集計等の事務の効率化を図り、事務負担軽減によって生じた余力を、研修内容の更なる充実に振り向ける。
達 成 目 標 (期待される効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 集合型研修の他に、情報通信技術も活用して、研修内容等に応じた開催方法や当日の運営手法を確立する。 ・ 情報通信技術を活用して、研修に関する各種事務処理方法を改善する。
備 考	

令和4年度各班等重点取組調書	
(企画振興) 課 (振興) 班	
令和4年度主要施策	(5) 県内図書館のさらなる活性化への寄与
事業体系の位置付け	(ウ)a 市町立図書館運営の支援・協力
新館ロードマップ 該当箇所	マップ No. 330 県内図書館支援－協力車見直し 作業 No. 1820 支援業務の見直し 作業 No. 2110 巡回協力事業の検討
重点取組名	市町立図書館への支援の再検討
現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・協力車事業では、中央館に定期訪問として年8回、地域館・分館に年1回(政令指定都市は3年に1回)訪問し、運営相談や各館の情報収集を行っている。ここ数年はコロナ禍や悪天候(台風・積雪等)により訪問を中止したり日程を変更したりするケースも増えており、訪問によらない支援を検討する必要がある。 ・市町立図書館の中には、頻繁な訪問を必要としない、自立した館が増加している。
取組の目的・内容・方向性・計画等	<ul style="list-style-type: none"> ・協力車事業について精査と再構築を行い、令和5年度以降の事業開始に向けた計画立案を行う。 ・訪問によらない支援を検討し、試行を行う。
達成目標 (期待される効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問によらない支援案を1件以上策定する。 ・協力車定期訪問を年1回以上削減する。
備考	

令和4年度各班等重点取組調書	
(資料) 課 (図書) 班	
令和4年度主要施策	(2) 現有施設における最良のサービス展開
事業体系の位置付け	(1)a 資料の利用促進
新館ロードマップ 該当箇所	
重点取組名	書庫1の狭隘化の解消
現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・閲覧室の床への負担を軽減するため、配架冊数を10万冊に抑えるように定期的に書庫へ移動しているが書庫1のスペースがなく、書庫への移動が難しくなっている。
取組の目的・内容・ 方向性・計画等	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度の書庫1の状況調査結果を活用し、館内作業日を利用して1類の資料を書庫11に移動する。 ・1類移動による空いたスペースの調整計画を作成する。
達成目標 (期待される効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・蔵書の配架場所を複雑化することなく、職員がスムーズに利用者に資料を提供できるようにする。 ・安全で利用しやすい閲覧室の維持、書庫狭隘化の解消。
備考	

令和4年度各班等重点取組調書	
(資料) 課 (図書) 班	
令和4年度主要施策	(1)新県立中央図書館整備への対応
事業体系の位置付け	(オ)新館整備の検討
新館ロードマップ 該当箇所	作業 No. 740 子どもへの直接サービスー資料収集の検討 作業 No. 2220 資料整備ー乳幼児児童向け資料
重点取組名	児童資料の選書基準の見直し
現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・全点購入している児童資料の中から児童にふさわしいと思われる資料を選定している。 ・新館で児童サービスを展開するためには、圧倒的に資料数が足りていない。
取組の目的・内容・ 方向性・計画等	<ul style="list-style-type: none"> ・新館で充実した児童サービスが展開できるよう児童選書の基準を見直す。
達成目標 (期待される効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・新館移転の際に県立中央図書館が目指す児童サービスを行えるよう新基準を作成する。
備考	

令和4年度各班等重点取組調書	
(資料) 課 (新聞雑誌) 班	
令和4年度主要施策	(1)新県立中央図書館整備への対応
事業体系の位置付け	(オ)新館整備の検討
新館ロードマップ 該当箇所	マップ No.100 資料整備 ICタグ貼付
重点取組名	所蔵資料の適切な管理
現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・1994（平成6）年2月以前の当館所蔵の雑誌は、タイトル名等の情報を紙の台帳で管理しており、データ化されていない。
取組の目的・内容・ 方向性・計画等	<ul style="list-style-type: none"> ・新館移転前までのICタグ貼付業務に備えるために、令和4年度から2年間で、全職員の協力により、紙の台帳で管理している雑誌の情報を電子ファイルに入力し、データ化する。
達成目標 (期待される効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度は、台帳159冊の内、50%程度を入力する。
備考	

令和4年度各班等重点取組調書	
(資料) 課 (新聞雑誌) 班	
令和4年度主要施策	(9)資料保存と貴重書等のデジタル化の推進
事業体系の位置付け	(ア) a 図書資料等の充実 －新聞、雑誌等の逐次刊行物の収集、整備
新館ロードマップ 該当箇所	マップ No. 270 資料修復・保存－その他資料
重点取組名	書庫4の床置き解消
現状・課題	・書庫4の棚にスペースがなく、床の上や違う棚に資料を配架しており、書庫出納がスムーズにできていない。
取組の目的・内容・ 方向性・計画等	・書庫4の床置きを解消するために、令和3年度に書庫7から書庫13に資料を移動し、書庫7に配架スペースを確保した。 令和4年度は、書庫4から書庫7に資料を移動し、床置きを減らす。
達成目標 (期待される効果)	・書庫4の床置きを減らし、書庫出納をスムーズにできるようにする。
備考	

令和4年度各班等重点取組調書	
(調査) 課 (一般調査) 班	
令和4年度主要施策	(6)レファレンス・課題解決支援サービスの充実
事業体系の位置付け	(ウ) b 職員研修 (エ) 関係機関・団体との連携・協力
新館ロードマップ 該当箇所	マップ No. 355 県内図書館支援－その他支援 マップ No. 378 普及公開－講座・イベント・見学
重点取組名	県民、県内図書館職員、教職員等に向けたレファレンス研修・課題解決支援サービスの充実
現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県内図書館職員を対象に基礎研修、応用研修、出前研修を、静岡県視覚障害者情報センターと連携して音訳点訳講座を、利用者を対象にオンラインDB講座を行っている。 ・ 県内図書館職員を対象にした研修では、図書館職員が置かれている状況や課題、図書館職員のニーズ等を把握したうえで、研修内容を絶えず更新していくことが求められる。 ・ 研修を担当する当館職員の指導力、発信力の向上が求められている。 ・ 県立図書館が課題解決支援に役立つ機関であることが県民に知られていない。
取組の目的・内容・方向性・計画等	<p>(1) 研修の充実 昨年度等の参加者アンケートの結果等を踏まえ、研修の内容を更新し、充実させる。出前研修については当館で用意した研修メニューを基本とするが、依頼館の要望にもできるだけ対応する。</p> <p>(2) 総合教育センターでの教職員を対象とした研修として、著作権講座及びインターネットを利用した情報検索講座等を実施する。</p> <p>(3) 研修を実施する職員の資質の向上 積極的に研修に参加し、新しい情報や技術、知識の習得に努める。</p>
達成目標 (期待される効果)	<p>(1) 県内図書館職員等のレファレンス技術の向上 (研修受講者アンケートの理解度及び有益度5段階の3.5以上)</p> <p>(2) 図書館の課題解決支援の認知度の向上 (目標レファレンス件数6,000件 令和3年度5,821件)</p>
備考	

令和4年度各班等重点取組調書	
(調査) 課 (一般調査班・健康医療情報委員会)	
令和4年度主要施策	(6)レファレンス・課題解決支援サービスの充実
事業体系の位置付け	(4)bレファレンス・サービスの充実 －課題解決支援（健康医療情報の提供）
新館ロードマップ 該当箇所	マップ No. 210 資料整備－健康・医療情報サービス整備
重点取組名	県民に向けた医療健康情報の発信と提供による課題解決支援サービスの充実
現 状 ・ 課 題	現状 ・ 課題解決支援の拡充を目的に健康医療情報コーナーの充実を図っている。 ・ 講師を招いての「健康医療情報講演会」の開催。 ・ 「がん情報ギフト」の市町図書館への提供。 課題 ・ 健康医療に関するレファレンス業務を充実させるための調査課との連携。 ・ 課題解決支援のために静岡県立中央図書館が健康医療情報の充実を図っている機関であることが県民に知られていない。
取組の目的・内容・ 方向性・計画等	(1) 継続的な情報提供 「健康医療情報コーナー」及び「がん情報コーナー」の資料の充実と、利用者の課題解決支援につながる配架や展示を中心に情報提供を継続的に行う。 (2) 県民への幅広い支援を目的に「出張図書館」「まちの保健室」「健康医療情報講演会」「がん情報ギフトの提供」を実施する。 (3) 情報発信の強化 新規に契約したオンラインデータベースの利用促進やSNSを使用しての情報発信を継続的に行う。
達 成 目 標 (期待される効果)	(1) 県民への各支援事業の充実 (アンケートの満足度・有益度5段階の3.5以上) (2) 健康医療関係資料の利用促進 (特集展示資料の貸出回数増加)
備 考	

令和4年度各班等重点取組調書	
(調査) 課 (障害者サービス委員会)	
令和4年度主要施策	(2) 現有施設における最良のサービス展開
事業体系の位置付け	(イ) a 資料の利用促進 ーユニバーサルデザインを配慮した利用の促進
新館ロードマップ 該当箇所	マップ No. 200 資料整備ー障害者サービス整備
重点取組名	ユニバーサルサービスについての検討
現 状 ・ 課 題	現状 ・ 令和3年度に障害者サービス業務マニュアルの作成とコミュニケーションボードの改訂 ・ 障害者サービスの実態と今後のサービスについて職員による館内研修の実施 課題 ・ 新館開館時の運用するユニバーサルサービスについての具体的な検討 ・ 専門講師による館内職員研修の実施 ・ 令和4年5月開始予定のサピエの団体会員登録後のスムーズな運用と県民への周知 ・ 静岡県視覚障害者情報支援センターとの連携
取組の目的・内容・ 方向性・計画等	(1) 新館に向けたユニバーサルサービスについての具体的な検討 ・ 新館時に運用する障害者等への各種サービス・支援について、その方針を具体的にする ・ 多文化圏資料コーナーの検討と方針の具体化 (2) 講師派遣型の館内職員向けの障害者サービス研修の実施 ・ 国立国会図書館等の講師派遣研修へ依頼し、サービスについて研鑽する機会を設ける (3) サピエ図書館の活用促進 ・ 視覚障害者情報支援センターとの連携も含め、サピエ活用の促進を図る
達 成 目 標 (期待される効果)	(1) 障害者サービスを中心としたユニバーサルサービスの方針を具体化し、年次計画を作成する (2) 障害者サービスに関して職員の理解度を高める。 (3) サピエ図書館利用を含む障害者等の資料貸出サービスの充実
備 考	

令和4年度各班等重点取組調書	
(調査) 課 (地域調査) 班	
令和4年度主要施策	(8) 専門書を中心とする資料収集と地域資料の充実 (9) 資料保存と貴重書等のデジタル化の推進
事業体系の位置付け	(7)a 図書資料等の充実－地域資料の収集、整備 (4)a 資料の利用促進 －貴重図書資料のデジタル化等による利用促進
新館ロードマップ 該当箇所	マップ No. 235 資料整備－その他資料整備 マップ No. 250 資料修復・保存 －特別取扱資料（地域資料・K分類資料）
重点取組名	地域資料の収集・保存・提供
現状・課題	(1) 行政資料や各機関刊行物にPDFなどの資料が増えてきているため、クローラーを開発したが、その運用について検討が必要である。 (2) 劣化の進みつつある一般視聴覚資料のうち、地域に関する資料の媒体変換を計画的に進める必要がある。 (3) 新館移転に向けて、地域貴重書の保存方法を整える必要がある。
取組の目的・内容・ 方向性・計画等	(1) 県及び市町のWEBサイトでPDFにより公開されている行政資料について、クローラーでの収集を開始するとともに、運用方法について検討する。 (2) 地域に関する一般視聴覚資料の媒体変換のため著作権についての調査等を行う。 (3) 昨年度実施した劣化度調査の結果を受け、地域貴重資料の保存計画を検討する。
達成目標 (期待される効果)	(1) クローラーの運用方法の決定。 (2) 地域に関する一般視聴覚資料の媒体変換候補資料の選定。 (3) 劣化度調査に基づく地域貴重書の保存計画の策定。
備考	

令和4年度各班等重点取組調書	
(調査) 課 (歴史文化情報センター)	
令和4年度主要施策	(11) 県史編さん収集資料の整理及び公開
事業体系の位置付け	(イ)a 資料の利用促進 － 県史編さん収集資料の公開、情報発信
新館ロードマップ 該当箇所	マップ No. 40 開館準備 (運営関係) － 運用方法検討 作業 No. 1620 公開申請
重点取組名	県史編さん収集資料の公開・広報・普及
現状・課題	現状 ・ 県史編さん収集資料(写真資料)の公開準備 ・ 近代資料の整理 ・ 管理システム(データベース)への登録 課題 ・ 資料所蔵者情報の確認が困難である。 ・ 目録作成や「資料紹介」に利用する資料の解読など、資料の広報に多くの時間を要する。
取組の目的・内容・ 方向性・計画等	方向性 ・ 写真資料や文書資料の公開により利用者からの問い合わせが増加しており、主に自然災害誌に掲載した写真資料と布達(明治初期の行政命令)の公開申請を行う。
達成目標 (期待される効果)	・ 資料の公開により資料の閲覧・利用が増加する。 ・ センター内公開及びインターネット公開資料 100 点、資料の利用件数 150 件。
備考	令和3年度公開資料 307 点 令和3年度資料利用件数 157 件

令和4年度各班等重点取組調書	
(調査) 課 (歴史文化情報センター)	
令和4年度主要施策	—
事業体系の位置付け	—
新館ロードマップ 該当箇所	作業 No. 1570～No. 1610 本館への引越し業務
重点取組名	本館への引越し業務
現状・課題	<p>現状・課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書籍並びに資料の整理ができていない ・本館と歴文との収集資料の規定が異なる（古籍・雑誌に規定がない） ・未整理の資料が多数存在している ・過去（県史編さん室）の書類が未整理のまま存在している
取組の目的・内容・ 方向性・計画等	<p>計画等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年予算請求 ・令和6年1月引越（本館へ移転） ・本館移転後の開館形態を検討する ・資料のわかりやすい配置を検討する ・開架図書及び閉架図書の整理確認を行い、本館との重複書籍を確認する ・県史編さん資料の整理確認をする
達成目標 (期待される効果)	本館移転のために資料や書籍を確認・整理することでスムーズな引越し業務を行うことができる。
備考	